



くらし

### 分譲マンションの耐震設計・耐震改修補助制度

分譲マンションの耐震設計・改修は住民の合意形成や金銭面の負担も大きい。旧基準の分譲マンションの耐震化を促進するための後押しになることが期待できます。

長年の要求が実現！



子育て

### 産婦歯科検診の実施

産婦の口腔ケアとともに歯が生え始めた子どもの口腔状況についての指導も実施されます。



医療

### 不妊治療助成事業

妊娠・出産を希望する全ての市民が不妊治療を受けやすくするよう、府の不妊治療費助成事業の対象外となる方(夫婦の所得合計が730万以上)に対して、吹田市が独自で助成。対象となる治療は健康保険適用外の特定不妊治療(体外受精または顕微鏡受精)です。

2019年10月からの予定



医療

### こども発達支援センターわかたけ園内診療所に児童発達外来を設置

児童発達専門医による児童発達科を開設します。月に1回で18歳未満のこども発達支援センターの発達相談や親子教室を利用する児童や関係機関(保健センター、教育センターなど)からの紹介による児童が対象です。



福祉

### 障害者相談支援事業の拡充

障害福祉サービスを利用するための計画を策定する事業所に新たに相談支援専門員を配置した場合、実績に応じて、事業所に最大60万円の補助を実施するというものです。しかし現在、事業所による計画作成率は48.3%。これは国の介護報酬が低く、採算が取れないためです。国に報酬の引き上げを求めるとともに、この補助事業だけにとどまらず、実態に見合ったものとなるように求めました。



子育て

### 病児・病後児保育を5か所計画⇒6か所計画に

利用のニーズが高く、利用を断るケースが増えている(2017年355件、2018年600件)ため、2019年度中に山田・千里丘・ニュータウン地域に1か所新規整備を実施します。

評価できることと要望も含めて



くらし

### 千里山地区のコミュニティバス導入

アンケートの結果を踏まえ、具体的な検討が進められます。住民の声が十分に反映されるよう要望しました。



教育

### 少年自然の家(高島市「もくぐの里」)のエアコン設置・トイレの改修工事の実施

より使いやすくなるように改修。ともに来年10月に工事の予定。せめてエアコンは施設の繁忙期の夏までに設置を早める努力をするように求めました。



くらし

### 公園トイレの改修・洋式化

公園のトイレは、犯罪の死角になることもあるので、その点を考慮することや、今回計画に入っていないところも含め、現状の把握とともに対応をするように求めました。

公園トイレ洋式化及び補修工事

令和元年度(2019年度)

千里北公園(北)	中の島公園
千里南公園(南)	佐井寺南が丘公園
佐竹公園	江坂公園
片山北ふれあい公園	垂水上池公園
豊津公園	

令和2年度(2020年度)(候補箇所)

千里北公園(苗圃)	広芝公園
千里南公園(円形)	五反島公園
津雲公園	佐井寺新池公園
亥の子谷公園	山田下ふれあい公園
紫金山公園(ローラー)	川園公園
紫金山公園(神社)	南清和園公園
紫金山公園(芝生広場)	山山西公園
片山公園	長野公園
山田公園	南金田公園
南吹田公園(東)	千里丘上公園

くらし

### 地域公共交通活性化事業

基礎調査の実施。今後、高齢化が進む中、市民の移動手段の確保など、多面的な検討を求めました。

くらし

### 片山市民プール(屋内)・武道館の復旧工事の実施

今年度中に工事を着工し、完了する予定。片山の屋内プールについては2020年4月から供用開始の予定です。



### 公立小学校におけるいじめ事案に関連する補正予算

いじめ重大事態に対応するため、緊急対策として提案されました。



### 1 スクールソーシャルワーカーの拡充

スクールソーシャルワーカーを配置する時間を1中学校区10時間から倍の20時間に拡充します。今回のいじめ事案で、スクールソーシャルワーカーの役割が機能していなかったことが明らかになりました。今回の拡充で終わりにせず、人員配置の拡充をし、せめて1中学校区(小中あわせて、3~4校)1人の配置となるように求めました。

### 2 市長への「(仮称)こどもSOSカード」の作成

こどもたちにカードを配布し、いじめなど困っていることを書き込み、市長や市の人権平和室に送ることができるなどというものです。提出されたカードの取り扱いなど、こどもの生命を守る立場で認識や理解を深めること、個人情報取り扱いなど課題について指摘をしました。

### 3 いじめ問題解決支援員の配置

いじめの問題が起こったときに、教員の相談にのる専門の支援員を配置します。



そもそも根本的な解決のためには...

### こどもたち1人1人に寄り添う教育環境を

こどもたち1人1人に目が行き届き、寄り添うことができるように、教員の多忙化の解消が必要です。教員を含めた十分な人員の配置、少人数学級をすすめることが必要ではないでしょうか。二度と、このような悲しいいじめの事態を引き起こさないために、こどもたちの教育環境の充実是不可欠です。